

塩治コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

No.204 [2022年3月23日発行]

塩治地区の世帯数と人口

令和4年2月末現在

世帯数	7,233世帯
人口	15,708人
(男)	7,671人
(女)	8,037人



令和3年度を振り返って コロナ禍と大雨で見えたこと

塩治自治協会

副会長 飯 國 荘 一



令和3年度も新型コロナウイルスの蔓延に始まりコロナに翻弄された一年となりました。小規模のサークル活動はコロナ対策をしながらか実施されたところもあったようですが、自治協会・体育協会等が関係する大きな行事や催しは、昨年度に続いて中止を余儀なくされました。各町内においてもそれぞれ会合や催しを止む無く中止したり、延期された町内も数多くあったと思います。地区内や隣近所でも交流や往來の自粛等身近な人同士でも少し疎遠になったり、内向きの行動につながったのではないのでしょうか。

こうした状況の中、いろいろな団体で困窮者に対する



花の寄せ植え



ほかし作り

支援の取り組みが行われ、塩治地区でも島根大学医学部連絡協議会で学生の支援活動を実施し、沢山の皆さんからご協力をいただきました。



島根大学医学部学生へ食糧支援

また、7月・8月の大雨では地区内各所で浸水被害が発生しました。これに対応して塩治自治協会長と土木委員長の連名で行政に対し、洪水対策に関する要望書を提出したところです。こうした浸水被害を解消するためには、赤川の改修が急がれます。赤川は菅沢町内から出雲市駅南を流れ、ジュンテンドー店舗の裏から北へ向きを変えて出雲二中の西側を通って高瀬川に沿うように下流(高松・白枝町方面)へ流れており、塩治地区の浸水を解消するためには下流から改修する必要があります。

コロナ禍や災害に対応した住みよい街づくりのためには、地域で一体的取り組み・地域でのつながり・人と人とのつながりの大切さを改めて考えさせてくれたと思います。



豪雨時のコミュニティセンター周辺

この一年

センター長 加茂 慎二

今年度も塩治コミュニティセンターは、事業委員の皆様をはじめ塩治自治協会・塩治地区関係団体の皆様のご支援ご協力をいただきながら事業の運営に努めてまいりました。

コミュニティセンター事業・貸館の事業については、秋にはほぼ普段通りになってきていました。しかし、年が明けてオミクロン株の影響が出はじめ、二月に「まん延防止等重点措置」が発出されると中止が一気に増えました。

このように、この一年を振り返ると昨年に続いてコロナウイルス感染拡大の影響を受けた一年になりました。計画していた事業を止む無く変更・中止とした事業もありました。役員・関係の皆様には何度も相談され、計画を変更されながら事業に取り組まれる場面、中止を決断される場面を度々目の当たりにしてきました。その度に頭の下がる思いがしました。ありがとうございます。また、事業にご参加の皆様、本センターご利用者の皆様には、常に感染予防にご協力いただき心より感謝しております。

年度末にあたり、この後、地域の皆様がいっしょに通う事業にご参加いただき、本センターをご利用いただける日が一日も早く戻ってくることを祈るばかりです。

コヒセン専門部 一年のふりかえり & 来年度への想い

塩冶コミュニティセンターでは、5つの専門部が自主企画事業を実施しています。

今年度、事業ができたところも、できなかったところも、「一年のふりかえりと来年度への想い」を各専門部から寄せていただきました。

女性部

女性部は、昨年度に続き廃食油を使った石けん作りを6月と10月に行ないました。当日の気温や油の使用度により出来具合が異なるので、毎回出来上がりが楽しみです。環境にも人にもやさしい石けんを多くの人に使って頂きたいです。

また9月には、出雲弥生の森博物館での草木染め体験を通して、古代出雲の人々の生活に思いを馳せたり、館内見学で当時の歴史を学んだり出来たことが良かった、との感想が多くありました。

そして11月、しまね花の郷で行なった寄せ植え教室では、皆さんが花と向きあい、周りの人たちとも打ち解けあいながらコミュニケーションがとられている様子が伺えました。

これからも人と人とのつながりを大切にしながら、SDGsにもつながる活動を広げていきたいと思います。



まちづくり部

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため事業がすべて中止となり、令和3年度6月に1年3ヵ月ぶりにEMぼかし作りから事業を再開することができました。

期間をあけての事業再開でしたが、各事業共に多数参加があり安心しました。

ふるさと探訪については、1回目は雨の心配をしていましたが、当日は晴れ、2回目は天気も良く、予定通り開催出来て安堵しました。部員に郷土史家があり、車中や訪問先で出雲国風土記記載の地名、神社の説明をしてくれたので、参加者はふるさとの見聞が深まったと思います。

10月の日御碕ウォークは晴天に恵まれ、松島展望台から隠岐諸島も見え、又神社参拝前には、南方より飛来したアサギマダラ（蝶）を運良く見ることが出来ました。



シルバー部

コロナコロナで事業が中止になるなど残念でした。

コンニャク作りでは、うまく出来たチームもうまく出来なかったチームもありましたが、失敗は成功のもとと言えます。私も勉強になりました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。来年度は、豆腐、味噌、納豆など自然食品作りを計画しています。楽しんでもらえるよう頑張ります。皆様の参加をお待ちしています。我々シルバー部、歳をとりました。友達作りを兼ねてお元気なお方入会しませんか。



ボランティア部

昨年度に続き今年度も新型コロナウイルスの影響で、文化祭・そば打ちなどの事業が中止となりました。

来年度、部員一同で雲南へ出かけ、しめ縄作りを勉強し、今後の事業に生かしたいと思っています。

青少年部

青少年部の今年度事業は新型コロナウイルス感染予防にて、昨年に続きやむなく中止としました。小学生を対象とした事業であり、主軸であるサタデースクールは平成12年から20数年に亘る継続事業であり、スクールに参加してくれている児童また講師の皆さまに対して申し訳なく思うとともに、青少年部員のみんなが2年間のブランクを残念に思い同時に寂しく思っています。

青少年部の事業趣旨は「子どもたちの健やかなる健全な育成」であり、未だコロナ禍にあって次年度事業計画については、2年間のブランクを取り戻す事は容易ではないが、子どもたちを守るべき対策を講じ事業の再出発を図りたいと思います。

コロナウイルス感染症予防対策に注意しながらご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

一日も早くコロナが収束し、検温・消毒・マスクが不要になることを願っています。

こんな事業をしました！

みつろう 蜜蝋ラップ作り

まちづくり部

12月12日(日)

5名が参加し、蜜蝋ラップを作りました。ミツバチの巣から採れる蝋を布に染み込ませて作る蜜蝋ラップは、洗って繰り返し使えるエコグッズです。SDGsへの関心が高まっていることもあり、以前から興味があったという方の参加が目立ちました。「思っていたより簡単にできて作業も楽しい」との感想があり、家で使わなくなった手ぬぐいや、思い出の布などで作った、自分のオリジナルの蜜蝋ラップに大満足でした。





出雲市消防団塩冶分団

～いつもお世話になり、ありがとうございます～



日頃は地域の見守りをし、災害時には救助活動を行い地域を守っている出雲市消防団。
今回は、塩冶分団の立脇分団長にお話を伺いました。

消防団とは？ (総務省消防庁資料から抜粋)

- ・各市町村に設置される消防機関
- ・火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火・救助活動を行う
- ・地域における消防防災のリーダー
- ・平常時・災害時を問わず地域に密着する
- ・住民の安心と安全を守る重要な役割を担う
- ・非常勤特別職の地方公務員

塩冶地区の皆様へ

分団長 立 脇 務



皆様にご理解をいただき、塩冶分団は団員の補充率が100%です。ご協力いただいていることに感謝します。また、ここ数年、塩冶地区では大きな火災が起きていません。皆様の防災意識の高さを感じています。今後も継続して災害のない町づくりにご協力いただきますよう、お願いします。

立脇分団長さんの話



塩冶分団では、消防小型ポンプ積載自動車などが置いてある格納庫が3ヶ所あり、3部に分かれて活動しています。

団員は分団長・副分団長・伝令班長の3名と各部部員11名の計36名です。

活動内容は下のとおりです。

こんな活動をしています

【平常時】

- ・毎週日曜日朝8時～車両運行に合わせ地域内警戒活動
- ・毎月第1日曜日にポンプの水出し点検
- ・毎年2回、防火水槽の点検



【災害時】

- ・災害現場での消火・救助・救出・避難誘導
- ・2次災害を防ぐため、消火・鎮火後の見守り
- ・水害時には越水するのを防ぐために土嚢の設置
- ・土砂崩れや水害時の行方不明者搜索

【年間活動】

- ・火災予防週間に防火水槽点検と災害時を想定した訓練(3/1～7、11/9～15)
- ・出雲市消防団の関係した訓練



消防ポンプ格納庫コミュニティ消防センターの紹介



第一部
(一畑バス出雲営業所付近)



第二部
(塩冶コミセン前)



第三部
(高西公園付近)

お話を聞いて、塩冶分団の皆様の熱心な活動のおかげで、私たちは安心して暮らせているな、と思いました。

災害時の活動のみならず、平時にも地域の見守りをさせていただきありがとうございます。



今号の『えんや物語』

島根半島西部の海岸に突出した岬「十六島」と上塩冶町にある「般若寺」は、昔から交流があり、その交流を基にしたイベントが平成十六年から平成二十五年まで開催されてきました。

イベントが終わり九年経ちますが、今号では、十六島と般若寺との昔からの交流やイベントについて書かれています「十六善神を偲ぶ会」を掲載します。

えんや物語

第21号
平成17年3月発行
塩冶コミュニティセンター
文化部
題字 万代順子氏

十六善神(上塩冶般若寺に安置)を偲ぶ会

平田市十六島(ウップルイ)町の特産、十六島ノリと出雲市上塩冶町の般若寺に安置された十六善神にちなんだ故事を再現し、地域文化の振興を図ろうと「十六善神を偲ぶ会」(十六島紫菜と「やむやの郷」の交流実行委員会主催)が十一月二十一日出雲市浜町の出雲文化伝承館で西尾出雲市長、長岡平田市長を招いて盛大に開かれた。

千数百年来の伝統行事再現

今回のイベントのもとになっている言い伝えは七世紀の半ば、唐の都長安から日本の都へ大般若経を運んでいた船がしけのために十六島に漂着し、このときに般若経守護の神・十六善神によって十六島ノリが新しい産物として伝えられたというもの。十六善神は般若安置の場所としてやむやの郷(後の塩冶)大井谷を定め、そこに一字(般若寺)を建立。船の修理を終えて出雲を出発する時、十六島の浦人の願いを入れて十六善神の木像を刻み般若寺に残した。以来千数百年の間、十六島の浦人は毎年ノリが生える前の十一月ごろと採取が終わった三月ごろに般若寺(出雲市上塩冶町)をたずね、十六善神にノリを供えて豊作を祈願。他方十六島の浦人を迎える塩冶

の村人も、中宿(中堂山)に接待所を設けて歓迎し相互の交流を重ねてきた。

こうして十六島の特産となった十六島ノリはその高級な味わいによって全国に名をはせ、松江藩への献上品にも。七代藩主の不味公は十六島ノリでつくった陣羽織を酒肴にしたという話が残されている。

今回のイベントは般若寺の後継がなく、十六島からのお参りが困難になったため失われようとしていた十六善神に関する行事を後世に伝えていくこと、十六島と塩冶の住民有志が起案。故事の再現を公開で行い、多くの人がこの言い伝えを知ってもらおうと地域文化の伝統文化を守り継いでいく。出雲文化伝承館で開くイベント「十六善神を偲ぶ会」では、十六善神像の前にノリを供えて法要を執り行うほか、昔ながらの製法による十六島ノリのあぶり岩ノリを茶菓子代わりに使った献茶、十六島ノリで作られた羽織の展示などを行い、十六島ノリをめぐる言い伝えを紹介、また島根女子短期大学の藤岡大拙学長による講演会や、三斎流・不味流の会員による呈茶会、十六島ノリをつかった雑煮や特産品の販売なども行った。同イベントにあわせて出雲市との交流実績がある韓国・慶尚南道から国会議員や福祉施設の園長ら十一人が来訪。十六島、塩冶の地域住民による交流会も開いた。

同イベントを主催する「十六島紫菜」と「やむやの郷」の交流実行委員会の布野信之会長は「十六島ノリの採取は自然相手の危険な作業で、神がかりなことが大事にされてきた。千数百年の故事を語り継ぎ、来年は平田の十六島を主体に開いて継続的な催しにしたい。」と挨拶。

般若寺の全景



般若寺に安置されている十六善神



最初に大般若経を陸揚し、仮安置した場所という言い伝えが残る崖

令和4年度「広報いずも」等配達予定日

4月20日(水)・21日(木)	10月26日(水)・27日(木)
5月25日(水)・26日(木)	11月22日(火)・24日(木)
6月22日(水)・23日(木)	12月21日(水)・22日(木)
7月20日(水)・21日(木)	1月25日(水)・26日(木)
8月24日(水)・25日(木)	2月21日(火)・22日(水)
9月21日(水)・22日(木)	3月22日(水)・23日(木)

○「広報いずも」発行日の関係で、お知らせできずに配達日が変更になる場合があります。

○事前に連絡いたしますが、1か月に1回の配達が増加で2回になることがあります。ご承知おきください。

受賞おめでとうございます!

【令和3年度健康づくり活動表彰】

継続賞	塩冶いきいきUP健康クラブ 様
継続賞	スポーツウェルネス吹矢 出雲ご縁支部 様
圏域会長賞	出雲すこやか会 様
圏域会長賞	塩冶卓球同好会 様
圏域会長賞	塩冶コミュニティセンター太極拳教室 様
圏域会長賞	おたっしや体操いきいき会 様
圏域会長賞	えんや健康サークル 様

青パト隊

歳末特別警戒出動式 及び街頭活動に参加

11月29日(月)

塩冶青色防犯パトロール隊は、歳末特別警戒出動式に参加しました。出動式の後は、出雲市駅前交番の協力のもと、JAメモリア出雲の駐車場をお借りして街頭活動を行い、「犯罪被害」や「交通事故」の防止を呼びかけました。地域の皆さん、夜道は特にお気をつけください。



今後の予定

4月12日	塩冶自治協会理事会
5月10日	塩冶自治協会総会
5月18日	区民ハイキング
5月中旬	各種団体総会
6月7日	廃食油石けん作り
6月14日	ふるさと探訪
6月28日	EMボカシ作り

※新型コロナウイルスの感染状況によっては急遽、中止する場合があります。